

MC医師研修(初級)比較(MCの基本と運用の理解)

	福岡	兵庫	東京
スライド枚数 (総数)	108	39	50
スライド枚数 (3群で完全に 一致していた もの)	0	0	0
スライド枚数 (3群で内容的 に一致してい たもの)	1	2	1
スライド枚数 (その他)			
SBOの達成	A	A	B
キーワードの 収載	A	A	B

(考察)本項目では、MCの目的、体制、コア業務を理解し、さらには地域のMC体制について説明できることを到達目標としている。福岡、兵庫会場では概ねSBOに沿った講義が実施されていたが、東京会場ではSBOの内容は簡潔に説明され、意識障害傷病者への対応、住民の救急車の要請判断、救命救急センターにおける精神科・高齢者問題について概説されていた。また、福岡会場では地域の取り組みが紹介されているもののスライド枚数はかなり多い。(まとめ)MCがPDCAサイクルを通じて、救急医療体制を改善するものであることを理解させるために、MCのコア業務についての教材作成が望まれる。

A・B・Cの3段階評価(A:十分、B:やや不十分、C:不十分)
A・B・Cの3段階評価(A:十分、B:やや不十分、C:不十分)